会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和５年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業  （２）教職員の資質能力向上の推進　①効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第2回事業推進委員会 |
| 開催日時 | 令和5年9月4日（月）13:00～15:00 |
| 場所 | リファレンス西新宿大京ビル貸会議室 |
| 出席者 | 委　　員：五十部　昌克、林　宏治、稲永　由紀、松本　晴輝、  谷　昌一、山根　大助、鈴木　弘明、岡村　慎一（OL）、  菊田　薫（OL）、氏部　正、沖　直彦、松田　義弘  　　　　　　計12名  請負業者：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　　計1名  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合計13名 |
| 議題等 | 1.「職業教育のマネジメント」「中期計画策定」に関するアンケート調査結果報告（五十部）  ・配布資料に基づき、アンケート調査内容を説明。  ・アンケート母数を修正。　1000→1082校  ・現在でも回答が届いているので今後それも反映させる。従って本日は速報値になる。  ・中期計画を作成している学校が思ったよりも多かった。359分の221校。  2.「職業教育のマネジメント」「中期計画策定」に関するヒアリング調査項目について（五十部）  ーーーーーーーーーーー1、2について意見交換  ・職業教育マネジメントの仕組みや規程等が整備されているかは重要。また、責任者をおいているということは重要だと感じた。（五十部）  ・学校の規模感で分類する必要がある。（林）  ・規模を調査するなら法人（グループ）か学校かを区分した方が望ましい。（稲永）  ・内部質保証人材や中期計画などの策定は、特に法人か学校かを区分する必要がある。（稲永）  ・インタビュー調査に繋げていくためには、職業教育マネジメントの定義がわかりずらい。他の事業では企業連携や研修等については三菱総研で既に行っている。この辺りの関係性を明確にする必要がある。インタビュー調査の柱となる部分を明確にする必要がある。規模、地域、分野などを勘案した上で、項目設定が重要。（菊田）  ・中期計画に関して、経営者や理事会がビジョンを示して作るべき。また、なぜ中期計画が必要なのかを経営者等がしっかり理解していることが重要と考える。また、職員の声がしっかりと中期計画に反映されているかが重要と感じる。（松田）  ・年間3回以上点検をしている学校などはヒアリングの対象としたい。（五十部）  ・今回、初めてやった学校は、その理由を聞くことも良いのではないか。（菊田）  ・大抵の場合は、良い事例をベンチマークにしてしまうと情報が偏りすぎることがあると思う。場合によってはやっていない学校の情報もえることが重要ではないか。（稲永）  ・中期計画とマネジメントに関しては連動性なども重要と考える。（稲永）  ・中期計画とマネジメントの調査があるがこれを一緒にやることは構わないか。（稲永）  ・委員会にて意思決定できれば、問題ない。（飯塚）  ・ヒアリング先には、事前に質問項目を渡して実施すると効果的（林）  ・大学基準協会、共済事業団等も含めて調査を行う。これは、大学などの情報を持っているので調査対象としては重要である。（稲永）  ・規模、主体、回数などを指標として抽出する。（林）  ・うちもやっているが、中期計画がグループの中に入っている。この辺りも整理しないといけない。（谷）  ・法人の規模を考えた場合には、全国規模、グループ校、単独校、小規模校などで区分する必要があるのではないか。全専研がやるとすれば200校程度の小さな学校を対象とすることが望ましい。（岡村）  ・10校程度を絞り込むことが必要だと考える。（五十部）  ・各地域を区分するより、やっていることをベースに選ぶことが必要だと考える。（五十部）  ・五十部、岡村、林等で10校の案を作成する。（五十部）  ・大学を調査対象から外すことは問題ないか（山根）  ・委員会で決定すれば、問題ない（飯塚）  ・大学を持っている法人に聞いてみることも重要ではないか（五十部）  ・中期計画を立てるにあたっての手順が聞きたい（五十部）  ・誰が策定するのか？なぜ作るのか？現場の声が反映されているのかが重要（飯塚）  ・ビジョン、基本戦略、個別戦略、教育計画、実行計画、ミッション、財務計画、人材育成計画などの重要な計画がしっかり整備されているかが重要と考える。個別戦略が具体的。（松田）  ・中期計画は経営計画のみならず、教育計画も含む事業計画的なものか（五十部）  ・何か公開されているものはあるか。（五十部）  ・私は、企業の計画から見ている。（松田）  ・中期計画を立てるにあたって、何を目的とするのかを明確にする必要がある。（林）  ・ビジョンやミッションは、計画ではなく根底にあるものと理解している。中期計画は目標と表現をするがこれに対する具体的な行動計画を明確にする必要がある。（稲永）  ・ヒアリングする学校の順番を考える工夫が必要。（松本）  ・当校は5カ年計画という言い方をしている。これを1年ごとに更新している。これが正しいのかが不安である。（鈴木）  ・当校も計画は作成している。1年ごとに更新している。これが良いのかがわからない。また、これが教職員に伝わっているのかが不安に思っている。（沖）  ・いかに外部と繋がって内部の改善をしているか、またその工夫などを入れる必要があるのではないか。中期計画は、経営計画も事業計画もどちらも重要で、投稿は利益計画を作成している。専門学校のいう中期とは何年のことをいうことがふさわしいかを明確にしていくことも重要であると考える。（氏部）  ・専門学校の中期計画は、2、3年があっても良いと思っている。（五十部）  ・計画を立てるばかりではなく、それの実行計画が重要と考える。（五十部）  ・中期計画の原則は5年ではないか。（山根）  ・期間については、専門学校における中期計画を適切に行える期間を設定すれば良いのではないか。卒業生の評価はどうなのかについては検討しても良いのではないか。いわゆる質の評価が重要であると考える。（岡村）  3. 「職業教育のマネジメント」「中期計画策定」に関するヒアリング調査先、メンバー調整（五十部）  ・この件については、追ってSlackにて検討していく。  〇その他  ・9月8日目処ヒアリング先を検討する。  ・9月22日ヒアリング項目作成  ・10月中旬にはヒアリングを実施。  ・第3回委員会日程は、10月20日（金）15時〜　ハイブリッド |
| 配布資料 | ・第2回事業推進委員会資料  ・職業教育マネジメントに関するアンケート調査結果 |

以